

臨床共通科目探究課題

水1・2限(1)「教科等の実践的な指導方法に関する科目」

「語りの分析と授業デザイン」

～文学教材の語りの分析を行い、それをもとにした単元をつくり、
学習デザインを提示する～

指導者：松本 修先生

3班：	片桐 治	高橋 克博
	松本 高志	阿部 朋広
	河内 一成	佐藤 義岳
	真島 徹也	勝海 由里子

「世界一美しいぼくの村」の語りの分析と学習デザイン

- 1 はじめに
- 2 範読
(問① 問②)
本時の流れ
- 3 本時
 - ・課題①
 - ・課題②
- 4 学習デザイン
- 5 まとめ

【問い①】

「町へ向かうバスやトラックがヤモたちを追いこしていきます。」は誰の声が聞こえますか。その理由も考えましょう。

p.2L1

<ヤモに寄り添う読み手>

○町へ向かうバスやトラックがヤモたちを追いこしていきます。

- ・追い越されるという方向にかかわる表現。

○街道は日がのぼって、急に暑くなってきましたた。町へ向かうバスやトラックがヤモたちを追いこしていきます。

- ・「急に暑くなってきました」をヤモの感覚とし、そのつながりでヤモと読む。

<語り手に寄り添う読み手>

○町へ向かうバスやトラックがヤモたちを追いこしていきます。

- ・ヤモたちという部分からヤモたちを俯瞰で見ているとする。

○町へ向かうバスやトラックがヤモたちを追いこしていきます。

- ・文末から説明らしさを感じ取る。

【問い②】

でも、春はまだ先です。の『春』はどう
いう意味ですか。

p.5L15

「春」を考える上で、最後の一文を
考える必要がある。

<ヤモに寄り添う読み手>

- その年の冬、村は戦争ではかいされ、今はもうありません。
- ・「その年」を、文脈指示でなくダイクティックな表現と捉えるとヤモである。

<語り手に寄り添う読み手>

○その年の冬、村は戦争ではかいされ、今はもうありません。

・この一文の時点でヤモの生死が不明。

○突然の結末・乾いた文体

・感情が入っていない。

最後の一文であるp.5「その年の冬、村は戦争
ではかいされ、今はもうありません。」を語り手
として読んでいる読み手は、「春」を平和や戦争
が終結した春という読み方をするだろう。

対して、最後の一文をヤモに寄り添って読んだ
読み手は、p.4「ハルーン兄さんならだいじょうぶ、
きっと春には元気に帰ってくると、ヤモは信じて
います。」という部分にも注目し、「春」はハルーン
兄さんが帰ってくる春という読み方になるだろ
う。

「語りの分析と授業デザイン」のまとめ

- 教材選択の重要性

目的をもって教材文を選ぶことで、確かな視点をもって読むことができたり、深いところまで読み込んだりすることができ、それぞれの読み取り方も違ってくることがわかった。

- 問いを作るということで授業をデザインする。

生徒が話し合うことで正しく深く読む力の向上を図る授業を構築することができる。

話し合いを活発にするような問いを作ることは大変難しく、教える側の深い教材分析が必要である。

- 教える側がその単元でどんな力を身に付けさせたいのか、はっきりとしたねらいを持って授業していくことが大事だと分かった。
- 教材分析に語りの分析という新しい視点が加わった。